



未来のまちへ（政令市のおゆみ）

新政令市誕生記念式典 広報課提供

政令市新潟の実現

平成17（2005）年、政令市の指定を目指して新潟市と近隣13市町村は合併し、人口81万人、面積約726km²の都市となった。同19年4月、新潟市は市域を北区・東区・中央区・江南区・秋葉区・南区・西区・西蒲区の8つの行政区とする、本州日本海側初の政令市となった。

8つの区にはそれぞれ区役所ができ、各区の特色を生かした活動も行われている。また、全市で小学校区を中心とした地域コミュニティ協議会が発足し、市民と市が協力合ってまちづくりなどの地域課題に対する取り組みが活発に進められている。



新潟市の行政区

新潟の文化の発信

平成21（2009）年に第1回「水と土の芸術祭」が開催され、以降3年に1回、国内外の芸術家を招き作品の展示や各参加団体の活動が市内全域を会場に行われている。同27年には、東アジア文化都市の日本開催都市として新潟市が選ばれ、他の開催都市と連携した文化活動が行われた。

「ラ・フォル・ジュルネ」は、新潟市と姉妹都市になったフランスのナント市で始まった音楽祭である。新潟市では、平成22年から毎年春に新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）などを会場として開かれ、市民から親しまれている。また、西区青山海岸で毎年8月に行われる「日本海夕日コンサート」も、多くの参加者で賑わっている。

新潟市からは、有名なマンガ家が多く生まれている。平成10年から始まった「にいがたマンガ大賞」は、若手マンガ家

の登竜門となっている。同23年からは、「にいがたアニメ・マンガフェスティバル（がたふえす）」が毎年実施されている。マンガ文化の拠点として「新潟市マンガ・アニメ情報館」が同25年にオープンした。名誉館長は、「花野 古町」と「笹 団五郎」のキャラクターである。



花野 古町と笹 団五郎
文化政策課提供



水と土の芸術祭 広報課提供

スポーツの振興

新潟シティマラソンは、平成10（1998）年から始められた。同23年からは、萬代橋など市街地をコースに取り入れ、多くの市民ランナーに親しまれている。さらに、サッカーJ1チームをはじめ、新潟市を拠点とするプロスポーツチームも多くできており、市内外のサポーターの応援で、各試合は賑わっている。

平成21年に新潟県で「第64回国民体育大会（トキめき新潟国体）」と「第9回全国障害者スポーツ大会（トキめき新潟大会）」が開催された。新潟市内は陸上競技やホッケーなど多

くの会場となり、全国の選手や応援の人たちを受け入れた。政令市になり、各区でのスポーツ施設の充実が図られている。同26年には日本海側では唯一の通年型のアイスアリーナが完成した。



新潟シティマラソン スポーツ振興課提供

東日本大震災と新潟の支援

平成16(2004)年の新潟県中越地震、同19年の新潟県中越沖地震、同23年に起きた東日本大震災において、新潟市は各被災地に対して多くの支援を行ってきた。

特に東日本大震災に際しては、同じ政令市の仙台市に対して、のべ8,380人の職員を派遣するなど、物心両面の支援を行うとともに、被災地に対する日本最大級の救援センターとして、大きな役割を果たした。また、多数の避難者を受け入れ、避難所を開設し支援を行った。避難者の数は、最大3,912人に及んだ。

災害に強いまちづくりに取り組むとともに、今後想定される太平洋側の大災害発生時の日本海側の拠点として、新潟市が果たす役割はますます大きくなっている。



津波の被災地(石巻市)で救助活動を行う市消防局職員 消防局提供

食育と花育の推進

新潟市の水田耕地面積は、市町村別全国第1位である。農業産出額も全国トップクラスとなっている。平成23(2011)年には、APEC食料安全保障担当大臣会合が、新潟市で開催されるなど、その存在感を高めている。

平成26年に「いくとびあ食花」(中央区)がグランドオープンした。同年、日本初の公立教育ファーム「アグリパーク」(南区)もでき、多くの小中学生や市民が利用して農業にふれ、新潟の食を学んでいる。

新潟市は、平成26年に「大規模農業の改革拠点」として

国家戦略特別区域の指定を受け、各事業者との連携による農業の推進が図られている。ほかにも「にいがた食の陣」が毎年開催されていて、新潟の食文化の豊かさを全国に発信している。



いくとびあ食花 食育花育センター
食育花育センター提供

市の歴史施設の充実

政令市となり、新潟市の歴史を学ぶ施設の充実が図られてきた。平成16(2004)年には、「新潟市歴史博物館(みなとびあ)」(中央区)がオープンした。館内をめぐることによって、新潟市の歴史を概観することができる。同23年には、「新潟市文化財センター(まいぶんポート)」(西区)が整備され、旧石器や縄文土器など市内で発掘された文化財が展示されている。同27年には、史跡古津八幡山遺跡の円墳(秋葉区)の復元整備が終了して全面オープンし、「弥生の丘展示館」と共に公開されている。

市内各区には、「旧小澤家住宅」や「旧齋藤家別邸」(中央区)

や「旧笹川家住宅」(南区)などかつての豪商、豪農の生活と文化に触れることのできる歴史施設が多数ある。また、「新潟市新津鉄道資料館」(秋葉区)は、蒸気機関車や新幹線などの実物車両の展示や、鉄道の運行現場で実際に使われた品々の展示から鉄道の歴史を学ぶことができる。



新潟市歴史博物館 みなとびあ

政令市新潟のこれから

新潟市が政令市となって10年が経過した。これまで新潟市は、「地域」、「大地」、「世界」の力をまちづくりに活かし、市民一人ひとりの安心を共に育ててきた。

政令市として第2ステージを迎え、「安心政令市にいがた」の実現に向け、市民と地域が学び高め合う安心協働都市、田園と都市が織りなす環境健康都市、日本海拠点の活力を世界とつなぐ創造交流都市という3つの都市像を掲げ、各種の取り組みが進められている。



新潟市街全景 広報課提供